

既設コンクリート舗装の付着オーバーレイ工法

【技術分野】

土木・建築

【特許番号/公開番号】

特開 2010-95959

【利用分野・適用製品】

空港、道路、港湾等におけるコンクリート舗装

【ライセンス情報】

実施許諾 【可】 権利譲渡 【否】

【目的】

既設コンクリートとセメント混合物の間の付着強度が高く、しかもコストや施工時間の面で優れた、既設コンクリート舗装の付着オーバーレイ工法を提供する。

【事業化情報】

実施実績 【無】 許諾実績 【無】

【効果】

新設コンクリート（セメント混合物）の既設コンクリートとの付着強度を従来工法に比べて大幅に高めることができる。また、ウォータージェットの併用が必須ではないため、コンクリートガラの発生を極力減らすことができる。これらにより、既設コンクリートと一体化した耐久性に富んだ新しい舗装を構築できる。

【技術概要】

既設構造物Cの表面C1にショットブラストにより凹凸面を形成し、この凹凸面に接着剤Rを塗布し、その上に新設コンクリートを敷設することにより、既設コンクリート上にセメント混合物を一体化して敷設できるオーバーレイ工法であって、上記接着剤Rとしてエポキシ接着剤が用いられ、上記凹凸面への塗布量が0.4 kg/m<sup>2</sup>以上となる条件下でセメント混合物を敷設する。

【特記事項・図面・その他】

前方⇄後方

